

令和5年度 学校評価（共通項目）評価書

和光市立白子小学校

柱	N.º	評価項目	自己評価	自己評価の説明 及び学校の考え	関係者 評価	学校関係者評価の説明
学校の 組織 運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて 全教職員で組織的に取り組んでいる。	B	経営方針の重点課題を全職員が理解し、各職員が達成に向けた具体的・効果的な方策の実現に努めた。	A	職員は学校経営方針の重点課題を理解し、教育活動の工夫改善に努めている。今後新しい児童像の実現に向けた取り組みを進めてほしい。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。	B	児童は訓練により状況に応じた行動がとれるようになってきた。職員のリスクマネジメント力を高めていく。	A	工夫をしながら防災訓練の充実を図り、児童の命を守る取り組みがなされている。登下校の安全を図るため、地域と連携した活動の充実を望む。
基礎 学力の 定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	B	全体としての学力は高まっている。学力低位の児童の改善に向けた授業補習等の工夫に努める。	A	時間のない中で、学力の底上げの取組は行われている。学習への意欲を高める授業の工夫を更に進めてほしい。
	4	学校は、学力向上を目指し、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	A	主体的・対話的で深い学びの推進に努め、個別指導を充実させることができた。	A	学力調査の分析を丁寧に行い課題が明確になっている。教師の授業力をさらに高め、全学級の授業の向上を図ってほしい。
	5	学校は、学習ルールを共通理解するなど、学習規律の確立が図られている。	B	学習ルールの見直しを全教職員で行い、共通理解、共通行動で学習ルールの徹底を図ってきた。	B	学力調査結果に基づき、問題解決に向けた取り組みを更に進める。学習規律は、教職員が共通認識をもって全校でぶれない指導を進めていく。
規律 ある 態度 育成	6	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた規律ある態度を身につけている。	B	全体としては落ち着いた生活ができています。教職員の共通指導の徹底に努めることが大切である。	B	地域でのあいさつは、まだ十分とは言えないが、校内では、どの学年も規律ある行動が出来ていると感じる。規律ある態度は、家庭の問題でもあるので、保護者への啓発も必要である。
	7	学校は児童生徒の実態把握に基づき、規律ある指導の工夫・改善に努めている。	B	児童、保護者アンケートの実施、学校HPの充実により家庭地域と情報を共有し、同じ意識での取組の推進に努める。	A	さまざまな方法で実態把握に努めている。課題となる事柄の原因を究明し、有効な手立てを工夫改善していくことが必要である。
健康・ 体力 向上	8	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	B	体力の低下が顕著となっている。運動機会の充実、教師の体育授業力の向上に努める必要がある。	B	運動に対して苦手意識を持っている児童への働きかけは行っている。子どもは遊びの中からも体力を向上させている。体を動かして遊ぶ時間をつくっていききたい。
	9	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	B	休み時間に外で遊ぶことを推奨し、楽しく運動できる機会を増やし、運動に対する意欲を高める。	B	食育、健康教育と合わせ、体力向上の取り組みも慌ただしい日常の中でよく行っている。効果をあげるためには、保護者とともに考えていくことが大切。
連携	10	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学校運営や教育活動に生かしている。	B	学校運営協議会を中心とした地域・保護者・学校の連携を深めていく。	A	地域と連携した活動も活発で地域行事にも積極的に参加している。運営協議会を活用し、地域の人材を教育活動に活かす努力をさらにおこなってほしい。

注：「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA～Dで記入